

あ行**アオコ (P39)**

富栄養化が進んだ湖沼で初夏から秋にかけて植物プランクトンが大量に発生し、水面を緑色に変色させる現象。腐敗するとカビ臭などの悪臭を発するほか、水生生物の死滅などの被害をもたらす

空家等 (P41)

建築物またはこれに附属する工作物であって、居住などの使用がされていないことが常態であるもの及びその敷地（立木等含む）

汚水処理設備整備率 (P3)

公共下水道などの汚水処理施設が整備されている人口の割合

か行**化製場 (P35)**

獣畜の肉や皮、骨、臓器等を原料として油脂、肥料、飼料等を製造するために設けられた施設

花壇等実践者 (P3)

花と緑のまちづくり推進のため、公共の場所などにおいて自ら積極的に花づくりによる緑化に取り組む個人や団体のことであり、登録できるのは市内の地域団体、市民活動団体のほか事業所や教育機関なども当てはまる

環境基準 (P3)

人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましいとされる、大気・水・土壌・騒音など環境上の条件についての基準

環境月間 (P44)

1972年6月5日から開催された「国連人間環境会議」を記念して、6月5日を「環境の日」と定め、1991年度からは環境省の主唱により6月の1か月間を「環境月間」とし、全国で様々な行事が行われている。

環境保全型農業直接支払制度 (P20)

化学肥料、化学合成農薬を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取り組みと併せて行う、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対し交付金を交付する

環境緑地保全地域 (P20)

岩手県自然環境保全条例の規定により指定された地域。市街地及びその周辺に所在する緑地で、良好な生活環境を維持するために必要な区域のほか、宅地の造成などの開発行為が行われる地区で、良好な環境を形成するために緑地の確保が必要な区域で、一定面積以上のものが指定される

グリーン購入法適合商品 (P13)

グリーン購入法の第6条に基づく基本方針に定められた品目およびその判断基準に合致した商品（グリーン購入法は、製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入することで、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を目的とした法律）

グリーンツーリズム (P3)

自然に恵まれた農山漁村において、地域の人々との交流を通じて、その自然や文化、生活、人々の魅力に触れ、農業をはじめとするさまざまな体験を楽しむ滞在型の余暇活動

公害防止協定 (P26)

地方公共団体または住民と企業との間で締結される協定の中で、法令の規定基準の補完、公害防止の目標値の設定、具体的な公害対策の明示などを内容とする

降下ばいじん (P26)

大気中に放出されたばいじんが、地表に降下するもので、不溶性物質と溶解性物質とに分けられる

耕作放棄地 (P20)

農林水産省が実施する統計調査（農林業センサス）において定義されている用語で、以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け（栽培）せず、この数年の間に再び作付け（栽培）する意思のない土地のこと

さ行

再生可能エネルギー (P3)

石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギーのこと

里地・里山 (P3)

都市部と原生的自然との中間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域で、二次林※と、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域概念をいう

※二次林…伐採や風水害、山火事などで森林が破壊されたあと、土中に残った種子などの生長によって自然に再生した林のこと

30・10（さんまる・いちまる）運動 (P13)

宴会などで食べ残しによる食品ロスを減らすため、乾杯後30分間とお開き前の10分間は自分の席に着いてみんなで料理を楽し

みましょうという取り組み

食品ロス (P13)

売れ残りや食べ残しなど、まだ食べられるものが捨てられてしまうこと

樹幹注入 (P18)

殺線虫剤をマツの樹幹に注入し全体に行き渡らせ、侵入して間もない線虫を駆除すること

樹種転換 (P18)

守る必要のある松林の周辺にあり、その松林に病気をうつす恐れのある松を取り除いて、広葉樹などの林に変えること

循環型社会 (P8)

廃棄物等の発生を抑制し、排出された廃棄物等のうち有用なものは資源として再利用し、廃棄物等を適正に処理することにより、天然資源の消費量を減らして環境への負荷をできるだけ少なくした社会のこと

森林環境譲与税 (P24)

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項各号に定められているもので、市町村が行う森林整備に関する施策や森林の整備を行うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する費用に充てることとされている。

森林経営計画 (P18)

森林所有者または森林所有者から森林の経営の委託を受けた者が、自ら森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、単独または共同で自発的に作成する森林の施策及び保護などの計画。計画を作成していると、補助金制度や所得税などの控除で優遇措置を受けることができる

水洗化人口割合 (P3)

下水道への接続や浄化槽設置により水洗化している人口の割合

スモールフォレストカレッジ (P25)

身近な里山の整備を促進すること目的に、林業機械の使い方など基礎的なことから、実際に樹木を伐倒し里山を管理するための実践的な知識・技術を学ぶ講習会

生物多様性 (P3)

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きもの一つひとつに個性があり、それらはすべて直接・間接的に支えあって生きているということを表す

た行

多面的機能 (P18)

農村で農業生産活動が行われることにより生ずる食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能のこと（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等）

多面的機能支払交付金制度 (P20)

地域資源（農地、水路、農道等）の適切な保全管理を推進し、農業・農村の有する多面的機能が将来にわたって適切に維持・発揮されるよう、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対し交付金を交付する

地球温暖化 (P14)

人間の活動が活発になるにつれ、「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象のこと。温室効果ガスとは、大気中に含まれる二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカー

ボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄、三フッ化窒素の7種類のガスの総称で、太陽により暖められた地表面から大気中に放射された熱を吸収し、その一部を再び放射することで大気を暖める働きがある

中山間地域等直接支払制度 (P20)

農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位として農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それに従って農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する

鳥獣保護区 (P20)

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき指定され、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区と、都道府県知事が指定する都道府県指定鳥獣保護区の2種類がある。環境大臣、都道府県知事は、鳥獣保護区の区域内で鳥獣の保護またはその生息地を保護するため特に必要があると認められる区域を特別保護区に指定することができる。鳥獣保護区の区域内では狩猟が禁止されるほか、特別保護区内では一定の開発行為が規制される

低公害車 (P17)

窒素酸化物（NO_x）や粒子状物質（PM）などの大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなどの環境性能に優れた自動車で、天然ガス自動車、電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、水素自動車、クリーンディーゼル自動車、低燃費かつ低排出ガス認定車をさす

な行

ナラ枯れ (P18)

カシノナガキクイムシが運ぶ「ナラ菌」が

木の中で繁殖し、水を吸えなくなることでコナラやミズナラなどが枯れてしまう被害

二酸化硫黄(SO₂) (P3)

大気汚染物質の一つで、石油、石炭等を燃焼したときに、含まれる硫黄が酸化されて発生する。高濃度で、呼吸器系への影響がある

二酸化窒素(NO₂) (P3)

大気汚染物質の一つ。ものの燃焼や化学反応によって生じる窒素と酸素の化合物で、大部分が一酸化窒素として排出されるが、大気中で酸化されて二酸化窒素になる。高濃度で、呼吸器系への影響がある

は行

バイオディーゼル (P11)

菜種油や廃食用油などを原料として精製されるディーゼルエンジン用のバイオ燃料

バイオマス発電 (P15)

バイオマスを燃焼する際の熱を利用して電気を起こす発電方式のことで、バイオマスとは木くずや食品廃棄物、もみ殻など動植物がもとになった生物資源のことを指す

微小粒子状物質(PM_{2.5}) (P27)

大気中に浮遊している 2.5 μ m 以下の粒子のことで、非常に小さいため肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が懸念されている

浮遊粒子状物質(SPM) (P3)

空気中を浮遊する粒子状物質のうち、粒径が 10 μ m (1 μ m は 1mm の千分の 1) 以下の小さな粒子をいい、これを吸い込むと肺の奥深くまで達し、呼吸器系の疾患を起こすとされている

ま行

民有林 (P5)

国有林以外の森林のこと。都道府県や市町村の所有する「公有林」と、個人や企業が所有する「私有林」がある

や行

予約応答型乗合交通 (P17)

利用者の事前予約に応じて運行する乗り合いの交通手段

遊休農地 (P20)

農地法において定義されている用語で、次のいずれかに該当するものをいう。「ア. 現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地」「イ. その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し、著しく劣っていると認められる農地」

アルファベット

BOD (生物化学的酸素要求量) (P3)

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量で、河川の有機汚濁を測る代表的な指標。値が大きいほど河川の汚濁が進んでいる

COD (化学的酸素要求量) (P28)

水中の有機物を酸化剤で科学的に分解した際に消費される酸素量で、湖沼、海域の有機汚濁を測る代表的な指標。値が大きいほど汚濁が進んでいる

LED (P17)

発光ダイオード (Light=光る、Emitting=放つ、Diode=ダイオード) の略で、電気を流すと発光する半導体の一種。エネルギー消費

量が少なく電気代削減や CO₂排出削減に大きな効果があり、水銀などの有害物質も含んでいないことから照明などに利用されている

P R T R 制度 (P37)

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握、集計し公表する仕組み

S D G s (P51)

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略で、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい社会を目指すための国際目標。17のゴールと169のターゲットがある。